

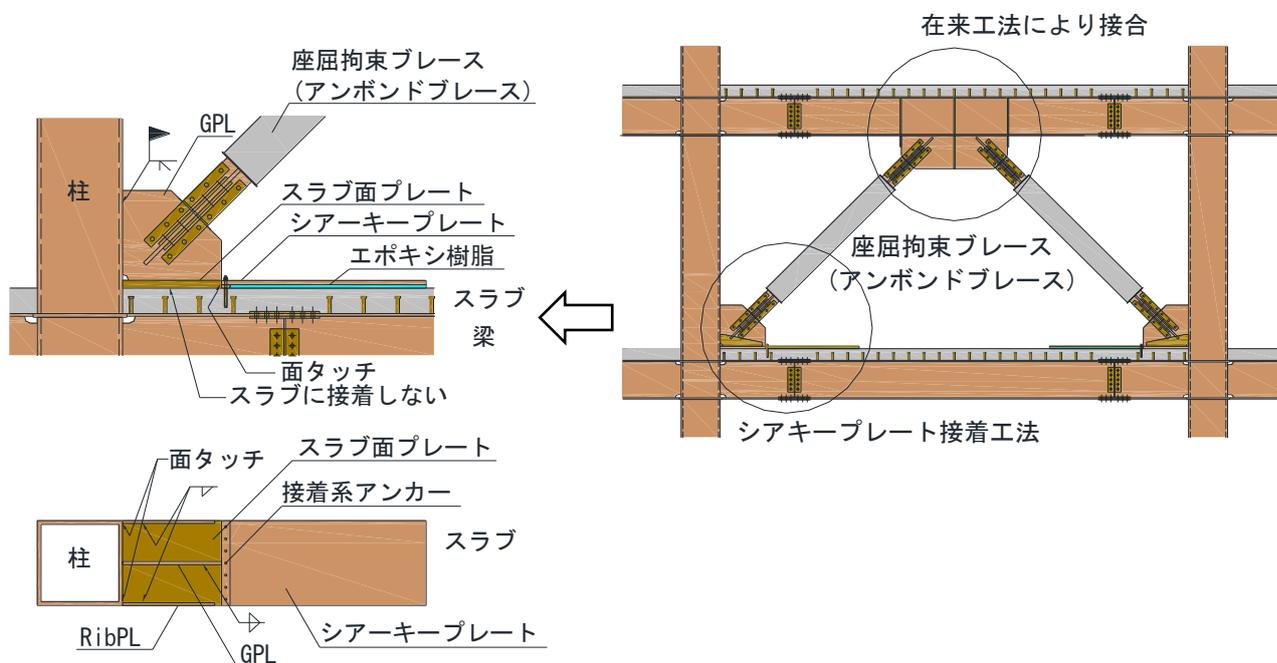
耐震補強工法

シアキープレート接着工法

工法の概要

シアキープレート接着工法は、既存の鉄骨造建物の柱・梁骨組内に、座屈拘束ブレース(アンボンドブレース、日鉄エンジニアリング(株)社製)を取付けて耐震補強する工法です。既存梁上の床スラブにエポキシ樹脂で接着した鋼板(シアキープレート)に座屈拘束ブレースからの水平力のみを伝達する工法です。座屈拘束ブレースに地震時引張応力が作用したとき、その水平成分のみをスラブ面プレートからメタルタッチされたシアキープレートを介してコンクリートスラブ、鉄骨梁へ伝達します。鉛直成分は、柱面にガセットプレートを高力ボルト接合または溶接接合することにより伝達します。

主な特長



1. 居ながら施工・短工期

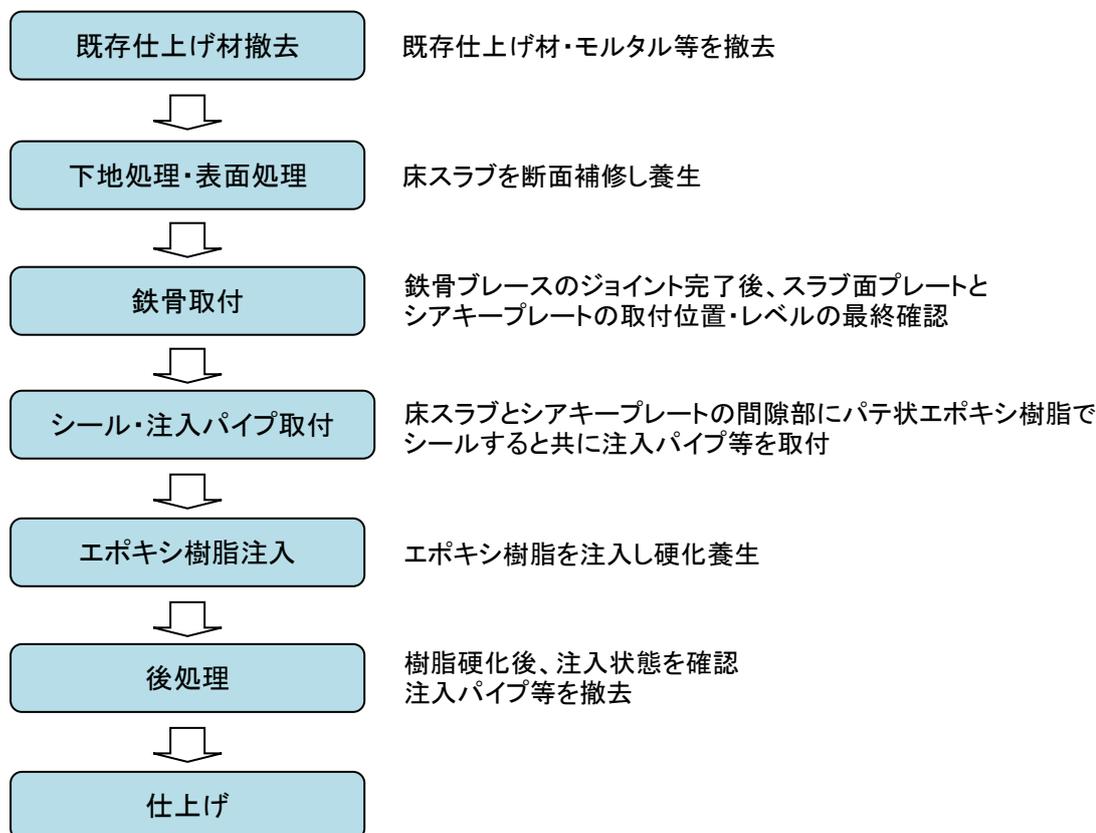
- ・床スラブのコンクリート研り作業が無く、あと施工アンカーの使用は最小限のため、工事中の騒音、振動、粉塵の発生が少なく、居ながら施工に適しています。
- ・床スラブのコンクリート研り作業、そのための養生および復旧作業が不要なため、工期短縮が可能です。

2. 信頼の設計・施工

- ・本工法は、(一財)日本建築防災協会の技術評価(建防災発第 19157 号, 2020 年 3 月 4 日)を(株)東邦アーステックで取得しており、設計・施工の体制を整えています。本工法の特許は日鉄エンジニアリング(株)が保有しており、実施許諾契約を行っています。
- ・アンボンドブレースは引張・圧縮強度の同等な座屈拘束ブレースで日本建築センターの一般評定を取得しています。

○ 施工方法

シアキープレート接着工法は、以下の施工フローで実施します。



○ 使用材料

- シール材 : トーホーダイトS930 (パテ状エポキシ樹脂)
- 注入材 : トーホーダイトCP300 (液状エポキシ樹脂)
トーホーダイトCP300K (液状エポキシ樹脂 低発熱・低臭気タイプ)
- 断面補修材 : イーグルクリートGL-4H または U-リペアライト (ポリマーセメントモルタル)



株式会社東邦アーステック
建設事業本部

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2 丁目 13-10 武蔵野ビル
TEL 03-5367-2661(代) FAX 03-5367-2666
<http://www.tohoearthtech.co.jp>

大阪

TEL 06-6886-8221(代)
FAX 06-6886-8228

